

外国人及び日本人児童生徒の多文化共生教育の充実に向けて
 — 「外国人児童生徒等への学校生活支援
 ぐんまのぐんぐんガイドー受入れ編・指導編ー」
 の作成を通して —

長期研修員 嶋崎 雅子 中山 繭美

研究構想図

国・県の課題

- ・日本語指導が必要な児童生徒が増加し、使用言語が多様化している。
- ・集住化・散在化の両傾向がみられ、各地域に応じたきめ細やかな支援が必要である。

学校の課題

- ・全教職員による外国人児童生徒等への教育に対する資質向上を図り、指導体制を整える。
- ・言語や文化の違いにより、保護者との意思疎通が困難である。

受入れに当たっての教職員の共通理解

—受入れ編—

受入れ準備



受入れのための面接



学級の準備



ぐんまのぐんぐんガイドの活用

—指導編—

日本語指導を始めるに当たって



日本語初期指導
ぐんぐんプログラム



日本語指導
・学習指導



多文化共生に向けた学校づくり

外国人及び日本人児童生徒の多文化共生教育の充実

外国人児童生徒等への学校生活支援 ぐんまのぐんぐんガイドの活用

どうやってコミュニケーションとるの？
どうやって教えたらよいの？



○全教職員で外国人児童生徒等への教育について共通理解を図ります。

子供の気持ちに寄り添って指導に当たることや母語の重要性、全教職員で取り組む体制づくりが重要なことが分かった！



受入れ編

◎受入れ準備の流れを紹介



通訳者の依頼方法、お便りの出し方が書いてあって安心した！

<お便りの例>

🇺🇸 🇯🇵 🇯🇵 🇯🇵 🇯🇵

運動会のおしらせ

9月20日に運動会があります。

ひ がつ にち どようび
◆日にち 9月20日(土曜日)

がっこう あつ じかん し
◆学校に集まる時間 8時

たいせつ 大切

◎受入れのための面接について説明



事前に準備する資料等が分かったので、面接のとき助かった！

<必要な持ち物の例>

□上履き、体育館シューズ

◎学級の準備について説明



外国人児童生徒等を迎える教室の準備ができた！

<掲示物の例(ウルドゥー語)>

(ہیٹھلی) اہد ہوا
アオケレ

指導編

◎日本語指導を始めるに当たって理解しておきたい内容を紹介

日本語指導には教科指導も含まれることが分かった！



◎日本語初期指導ぐんぐんプログラム(全15時間の指導案)を掲載



日本語を初めて学ぶ子供への教え方が分かる!**モジュール学習**もできて便利!



<指導案の一部>

③「ある」「ない」を言う

- ・Tがおはじきを一方の手の平に置き「ある」と言いながら見せ、もう一方の手の平を見せ「ない」と言う。
- ・Tが後ろ手でおはじきをどちらかの手に隠し、「ある？ ない？」と問いかけて当てるゲームをする。
- ・おはじきをSに渡し、Sが隠す側になり、「ある？ ない？」と問いかけ、Tが答える。

◎日本語指導・学習指導の説明

学級での学習に参加するための支援の方法が参考になった！



○全ての子どもたちが夢や希望を実現できるように、多文化共生に向けた取組を推進します。

「日本語ができないAさん」ではなく「**〇〇語ができるAさん**」へ



・保護者との信頼関係づくりを行う。

・将来を見据えた進路指導を行う。



保護者との連絡方法の工夫等が分かったので、活用してみよう！

早めに進路指導しよう！高校入試に**特例措置**があることも分かった！



成果

群馬県内のどの地域でも活用でき、教職員の資質向上につながる「外国人児童生徒等への学校生活支援ぐんまのぐんぐんガイド」と「日本語初期指導ぐんぐんプログラム」を作成し、多文化共生に向けた取組を示すことができた。

課題

「ぐんまのぐんぐんガイド」の内容に日本語と教科の統合学習について、保護者への支援、地域のボランティア等との連携の内容も追加し、外国人児童生徒等への支援の充実を図る必要がある。

提言

外国人及び日本人児童生徒への教育を組織的・計画的に行い、全ての子どもたちが共に学び成長する多文化共生の学校づくりを推進しましょう。